

# 令和元年度 第1回京北第二小学校学校評価の結果と分析

本校教育活動をより充実するために、今年度1回目、前期の学校生活について、児童・保護者のアンケートを実施しました。お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

学校評価のアンケート結果を表にまとめ、そこから質問項目を焦点化して分析・考察いたしました。この内容をもとにして、今後もよりよい教育活動を推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ■学校教育目標

京北地域の主体者として、伝統と文化を受け継ぎ、自らの進路と未来を切り拓いていける子どもの育成

## ■めざす子ども像

- 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ふるさとを愛し、思いやりのある子
- 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

## ■学校評価の目的

- 学校教育目標・めざす子ども像の達成に向けての学校教育の取組について、学校評価を通して、成果と課題を明らかにし、よりよい学校への改善を図る。
- 保護者・地域の方に、育てたい「子ども像」や課題を知っていただき、子ども達への教育を共に進めていく。
- 児童も後期の生活を振り返り、よりよい学習や生活ができるようにする。

学校生活 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者		A	B	C	D
① お子たちは、は学校生活を楽しく送っていますか。	73	25	2	0	
② お子たちに、友達を大切にし合う関係は育っていますか。	57	41	2	0	
③ 思いやりの心やいじめを許さない心は育っていますか。	48	50	2	0	
④ 学校は授業や行事を通して、健康教育や保健教育に積極的に取り組んでいますか。	57	43	0	0	
児童		A	B	C	D
① 学校は楽しいですか。	69	17	5	9	
② 友達を大切にしていますか。	81	15	2	2	
③ 友達に嫌なことを言ったり、したりせず、相手の気持ちを考えて、行動していますか。	67	31	2	0	
④健康にすごせるように、外で元気に遊んだり、手洗いうがいを忘れずにしたりしていますか。	59	31	10	0	

保護者において、どの項目においてもAそう思う（以下A）とB大体そう思う（以下B）の合計が95%以上となっています。ただ、少数ではありますがCあまりそう思わない（以下C）の回答があり、見過ごすことはできないと考えています。児童においては、①「学校は楽しいですか」に対してCが5%、

D そう思わない（以下D）が9%となっています。児童が学校を楽しいと思う瞬間はいくつかありますが、その大きなものは何と言っても友達と楽しく過ごしている時ではないでしょうか。友達と楽しく過ごさせているのか、そこに困りはないのかをしっかりと見て、些細な変化やサインに気づくことが大切だと考えています。また、意図的に対話を行い、児童が気軽に相談できるようにしたいと思っています。

**学 習** (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者		A	B	C	D
①学校は、工夫して分かりやすい授業を行うなど、学力の充実、向上に積極的に取り組んでいますか。	39	59	2	0	
②お子たちは、意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解していると思いますか。	30	56	14	0	
③お子たちは、授業などでクラスや仲間に自分の考えを表現・発表することができますか。	27	59	14	0	
④お子たちは、いろいろな課題についてあきらめず粘り強く取り組んでいますか。	27	59	14	0	
児童		A	B	C	D
① 授業は分かりやすいですか。	64	26	5	5	
② 授業では、勉強していることが、よく分かりますか。	63	22	13	2	
③ 授業中、手をあげて、自分の考えを発表していますか。	52	31	13	4	
④ 難しい問題でも、すぐにあきらめずに、粘り強く考えていますか。	61	31	8	0	

保護者、児童ともにおいて、どの項目もA・B合わせて80%以上あります。ただ、保護者においてはAよりもBの割合が多く、児童においてはBよりもAの割合が多いのも特徴です。

②③において保護者、児童ともCの割合が同じとなっています（児童は②のDが2%、③のDが4%ある）。児童が授業中に自分の考えを発表するのは、その自分の考えに自信のある時が多いです。学年が上がると、予想を話し合うこともしますが、そんな時でも予想に根拠をもって自信をもって発表できます。そう考えると②と③の関連も見えてくるのではないのでしょうか。

児童が積極的に自分の考えを表現し、発表するには、まず、授業の内容をしっかりと理解させることが大切です。研鑽を積み、児童が自分の考えを表現し、発表したくなる授業づくりをめざしていきたいです。

④についても、保護者でCが14%、児童でCが8%となっています。粘り強く取り組めるのは、そのことに意欲がとても高い（問題意識が高いも含めて）児童か、粘り強く取り組むことで自分に力がつくことを知っている児童であることが多いです。そうした児童にしていくには、まずは意欲をもたせること（問題意識をもたせること）がとても大切になってきます。そして、粘り強く取り組んでいることをほめること、その成長を評価すること（ほめること）、が必要でしょう。こうして、粘り強く取り組むことの良さを知った児童は、自分が解決すべき問題を見つけた時に、不安を感じながらもあきらめず、前向きに取り組むことができるのではないのでしょうか。

学校では、学習はもちろんですが、行事等も通して、粘り強く取り組む良さを知る児童を増やしていけるよう取組を進めていきます。

## 家庭生活

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	A	B	C	D
① お子たちには、家庭での学習の習慣を身につけさせていますか。	25	64	11	0
② お子たちには挨拶をするなど基本的な生活のマナーを守らせていますか。	25	70	5	0
③ お子たちには早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけさせていますか。	34	61	5	0
④ お子たちにはテレビ・ゲーム・情報通信機器（ネット・SNS 等）の時間や約束を守らせていますか。	21	57	19	3
⑤ お子たちには家での役割（決まったお手伝い等）を持たせていますか。	18	48	32	2
⑥ お子たちとは家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふれあいの時間をもっていますか。	41	55	4	0
児童	A	B	C	D
① 家で、宿題などの勉強はしっかりできていますか。	70	22	8	0
② 「おはよう」「ありがとう」など、あいさつはできていますか。	83	13	4	0
③ 家で、「早寝ね・早起き・朝ご飯」はできていますか。	55	37	4	4
④ テレビ・ゲーム・スマホ・タブレットなどについて、おうちの人との約束を守っていますか。	57	30	9	4
⑤ 家で、きまったお手伝いをしていますか。	48	33	11	8
⑥ おうちの人に学校であったことを話したり、一緒に遊んだりしていますか。	59	22	17	2

⑥子どもとの対話については、保護者においてA・B合わせて96%ありますが、児童においてはC・Dの合計が19%あります。これはアンケートをとった日の前日にたまたま親子で学校であったことを話さなかったり、遊ばなかったりしただけかもしれません。また、学年が上がると、なかなか学校での出来事を話してくれなくなることもあるかもしれません。でも、話そうとしたり、一緒に遊ぼうとしたりしなければ、そうした時間をもつことも難しくなります。そして何気ない会話の途中や遊んでいる時のふとした瞬間に、悩みごとを話してくれるかもしれません。学校では、これからも学級便りやホームページで、学校での取組を紹介していきます。そうしたことを話題のきっかけにしてもらえればとてもうれしいです。

④テレビ・ゲーム・情報通信機器の約束については、C・Dの合計が保護者で22%、児童で13%でした。学校でも児童同士の会話の中で、ゲームの話が出てきます。中には、耳を疑うような残忍な内容を話している時もあるようです。ゲーム機であっても、情報通信機能をもっているものがあります。そして、それらへの児童の対応力には驚かされることが多いです。児童がそれらを持った時、どのような内容のものを扱っているのか、全てを把握することはすぐに難しくなります。そうなる前に、親子で約束をつくり、守らせ、興味の赴くままに進むのではなく、立ち止まって考えることができる態度を身に付けさせたいものです。学校では、情報モラル教育等を発達段階に合わせて取り組みます。その中では、情報通信機器のよさや問題点について調べ、どのようにかかわっていくのかを考える学習をしていきます。

### 学校運営

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者				
	A	B	C	D
① 学校行事は子どもの力を育てるものになっていますか。	73	27	0	0
② 学校は、保護者に教育目標やめざす児童像を分かりやすく伝えてありますか。	32	66	2	0
③ 学校は、学校便りや学級通信、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていますか。	50	48	2	0
児童				
	A	B	C	D
① 運動会、社会見学などの学校行事は自分の役に立っていると思いますか。	72	20	8	0
② 学校の目標、クラスの目標達成を目指して、活動していますか。	56	35	7	2
③ クラスのお便り、ホームページなどで、学校のことや予定についてよく分かりますか。	73	15	8	4

保護者においてはどの項目もA・B合わせて95%以上あります。児童においてもA・B合わせて80%以上あるものの、C・D合わせた割合も少なくありません。

②「学校の目標、クラスの目標達成を目指して、活動していますか」については、そもそも目標がよく分からないという児童もいるかもしれません。ただ、C・Dとこたえた児童についてもこの学校評価アンケートを通じて、目標を意識することができたのではないのでしょうか。学校では目標を達成している児童の姿、また達成しようと努力している姿を見つけたら、目標の言葉と関連付けて積極的に評価していきたいです。また、時には目標の言葉にフィードバックし、自分たちの状況を顧みる時間を設定することも必要であると考えています。

①「運動会、社会見学などの学校行事は自分の役に立っていると思いますか」については、行事の前後の活動が大切だと考えています。行事前には、その成功や充実に向けての準備をします。準備の過程で児童は大きく成長します。ただこの段階では、自分の成長を分かっているとはいえませんし、実感も沸いていないでしょう。行事本番もほとんどの場合は準備してきたことを一生懸命に発揮して終わってしまうでしょう。そのため行事の後、自分自身を振り返った時、この時初めて自分の成長を理解するのだと思いますし、理解できるような振り返りをしていくことが重要です。学校ではこのことを踏まえ、丁寧な活動を進めていきたいと考えています。

### 学校・保護者・地域との連携

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者				
	A	B	C	D
① 学校・担任は保護者の相談に丁寧に対応していますか。	59	41	0	0
② 子どもは、地域の行事等に参加していますか。	77	23	0	0
③ 学校・家庭・地域が協力して子ども達の安全や健全育成に努めていますか。	64	30	6	0
児童				
	A	B	C	D
① 困ったことがあった時は、担任の先生に相談していますか、また、しようと思っていますか。	39	39	13	9
② 地域のお祭りや行事には積極的に参加していますか。	69	26	5	0
③ 地域や近所の人とあいさつしたり、お話ししたりできていますか。	70	20	6	4

②地域の祭りや行事への参加については、A・Bの合計が保護者で100%、児童で95%あり、大変高い割合となっています。これは京北第二小学校の大きな特徴であると考えています。地域の行事に楽しみながら参加することで、児童が地域のコミュニティの一員であることを自覚し、安心感をもつと思います。そうした児童は、主体的にチャレンジし、努力を継続することの基盤をもつことができるのではないのでしょうか。児童のやる気の源となる家族、地域であることはすばらしいことです。

①については、保護者でA・Bの合計が100%ですが、児童はC・Dの合計が22%ありました。学校では、「悩みや困りがあつたら、養護教諭や教務主任、教頭、校長等、担任以外の先生にも相談してください」と児童に話しています。ただ、児童と最もかかわりのあるのは何と言っても担任です。担任が相談相手としていることは、児童にとっても学校生活を送る上で、安心できる要素の1つであると思います。カウンセリングマインドをもって、忙しい時も手を止めて児童の話に耳を傾けることの大切さを今一度確認し、後期にはC・Dが0%になるようにしていきたいです。

#### 保護者アンケート自由記述から（抜粋）

- 引越してきたこともあり、東京に戻りたいと言うことがあります。日々見ていると、こちらの生活の方が楽しんでいる様に見えますが、東京の友達が大好きなので分かるので良しと思っています。男女関係なく遊ぶタイプの娘ですが、さみしい気持ちになった時ママに言う前にすぐ先生に言ってもいいんだよと伝えてあります。教師、生徒、親が近く、とても良い学校だと思っています。
- 先日の運動会とてもすばらしかったです。各学年、一生懸命に取り組み、高学年の子達はお手伝いやいろいろな係をしながら、自分の出番にも出て、毎年感動します。やはり一番感動するのは組体操です。子ども達の一生懸命成功させるぞ！という意気込みの伝わる良い演技で、とても感動しました。学習発表会も楽しみにしています。
- 毎日がんばって学校に行っていると思います。通学班での登校がバラバラで高学年の子（うちもそうですが）もう少し下の子をまとめる力や自分がまとめないと！という気持ちを強く持って、低学年の子どもは上の子の言うことをちゃんと聞かなければ！と思って行ってほしいなど、日々思っています。
- いつも子ども達を1番に考えて頂きありがとうございます。
- 高学年の自覚ができ、下級生を思いやる気持ちがより強くなっているようです。ご指導いただきありがとうございます。
- 家庭学習を自由学習にしていきたいです。
- いつもお世話になりありがとうございます。
- 2年生の息子ですが、「勉強が楽しくない・・・」と申しております。この年は知ることが楽しいものだと思っていたのです、親としては少し驚いています。
- いつも子ども達のためにありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

## 学校評議員会より

- 学校が楽しくないと回答した児童には、たまたまその時に友達とのトラブルがあったのかもしれない。ので、詳しく聞いていく必要がある。
- 運動会などで児童の様子を見ていると、高学年は本当にリーダーらしくなっているなど感じる。また、高学年に限らず4年生なども低学年に対して優しくリーダーシップを発揮している姿も見る。いい雰囲気ができていると思う。
- 学習については、全体的にAよりBが多いのは、我が子への期待感の表れだと思う。毎日関わっていると、成長に気付きづらい。学校から分かりやすく成長していることを伝えてあげてほしい。
- ゲームや情報通信機器については、約束をつくり、守らせることも大切であるが、家庭によって約束が違うことがある。子ども達はそのことをよく知っていて、誰の家に遊びに行けば、より楽しく使うことができるのかを考えている。保護者同士が約束について話し合う機会を設け、できれば合わせていくことが必要なのかもしれない。
- 目標に向かってがんばる子にしていくには、まずは自己肯定感を持たせていくことが必要であると思う。学年が上がるにつれて、やみくもに褒めても自己肯定感が高まっていかない。目標にしている子どもの姿に近づいた時に、褒めることができればいいと思う。先生が自分のがんばりを認めてくれていると感じると、子どもの自己肯定感が高まると思う。学校で褒められて、家庭でも褒められるとよりいいと思う。
- 困った時の相談相手として、特に高学年では担任とは限らないことがあると思う。また、先生と子どもで困った時の捉え方が違うと、先生は相談にのったつもりでも、子どもは不満をもっているということもある。
- 登校の様子については気になる時がある。リーダーというよりは、班のメンバーによっても様子が変わるのではないかと。ただ、安全にかかわることなので、徹底して指導してもらいたい。保護者や地域の者で見守ることができればいいとも思う。